

第6期 池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会  
(第1回) 議事録

開催日時	平成26年5月16日(金) 午後1時10分開会～午後2時30分閉会
開催場所	池田市役所 5階大阪府大会議室
会長	山本委員
出席者	山本委員、井上委員、見野委員、萩原委員、大西委員、 下芝委員、北浦委員、松山委員、木村委員、竹田委員 (以上 10名)
欠席者	正田委員、正野委員
議題	(1) 事業計画策定の位置付け (2) 事業計画策定に伴うスケジュール (3) 介護保険制度見直しの概要について (4) 利用意向調査の結果について
資料	(1) 第1回委員会資料 ・事業計画策定の位置付け ・事業計画策定に伴うスケジュール ・介護保険制度見直しの概要について ・利用意向調査の結果について (2) 介護保険制度の改正案について (3) アンケート調査結果概要 (4) 池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会規則

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	1 開会 (開会挨拶)
早川副市長	2 副市長挨拶 (挨拶)
事務局	3 委員委嘱 (委嘱状代表交付) (委員自己紹介)
事務局	4 正副会長選出  正副会長の選出方法は、池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置要綱では委員の互選となっているが、どのような方法がよいか。
木村委員	会長は山本委員にお願いし、副会長は会長指名ということでご了承頂きたい。
事務局	いかがか。
委員一同	(拍手をもって賛同)
事務局	異議なしとのことなので、山本委員は会長席へご移動をお願いしたい。それでは、山本会長から副会長の選任をお願いしたい。
山本会長	副会長は正田委員にお願いしたい。
事務局	正田委員は、本日欠席だが、指名されれば副会長は受けるということである。正田委員ということでよいか。
委員一同	(拍手をもって賛同)

事務局	<p>それでは正田委員には席のご移動をお願いしたい。</p> <p>5 正会長挨拶</p>
事務局	<p>それでは、山本会長より一言ご挨拶をお願いしたい。</p>
山本会長	<p>(挨拶)</p>
事務局	<p>(資料確認)</p>
事務局	<p>傍聴希望者はいない。それでは、議題のほうに入りたい。池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会要綱第5条では、会長が議長を務めると定められている。以後の進行については、山本会長をお願いしたい。</p> <p>6 議事</p> <p>議事(1) 事業計画策定の位置付け</p>
山本会長	<p>議事(1)を事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>(資料説明)</p> <p>第6期池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会資料(第1回) 1～2ページ</p>
山本会長	<p>質問はないか。</p> <p>介護保険はよくできた制度で、オープンにアンケートをとり、真摯に直面し、計画を立て、問題があればすぐに修正する。市民の皆さんと一体的に作っていかうという精神がある。</p> <p>それでは、事務局より議事(2)のスケジュールの説明をお願いしたい。</p> <p>議事(2) 事業計画策定に伴うスケジュール</p>
事務局	<p>(資料説明)</p> <p>第6期池田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会資料(第1回) 3ページ</p>
山本会長	<p>第2回目の会議は7月から8月ぐらいに行うということである。法律の詳</p>

	<p>細が決まるので、それを受けて会議を行いたい。第3回目の9月には市内でどれくらいのニーズを持ち、サービスをどの程度提供すればよいかを決めていきたい。第4回目の11月で計画素案を作成し、これではほぼ全体が固まっていく。第5回目の2月には計画の決定版を確認するということになる。</p> <p>質問はないか。</p> <p>ないようなので、介護保険制度の見直しの内容について事務局より説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p> <p>山本会長</p>	<p>議事(3) 介護保険制度見直しの概要について</p> <p>(資料説明)</p> <p>第6期池田市高齢者福祉計画・介護保険制度の改正案について</p> <p>質問はないか。</p> <p>介護保険制度の改正案は、施設に関して費用負担は大きな提案が入っているが、それ以外は議論にならない。国は、介護は地域に任せるとしている。地域とは保険者である池田市だが、実際はもう少し狭いエリアに落とす必要がある。その中で在宅での医療、介護をどうしていくのか。また、認知症のことが大きく取り上げられている。この対策は、隣近所の協力などが主役になる。ほかに介護の専門職が集まる地域ケア会議や介護予防事業について、「予防」とは、介護状態ではない方が対象となるので、介護保険制度とは話が全然違うことを理解しなければならない。介護の対象者は2割だが、介護予防の対象は8割になる。地域包括支援センターがメインとなり、評価をして機能強化に向けた方向性の議論を行う。また、地域支援事業は保険者である各市町村の問題となる。全般的に介護は地域の問題で、お金は国の問題ととらえている。</p> <p>通所介護は市町村の密着サービスとして位置づけられ、市町村に権限が持つと同時に責任も生じる。居宅介護支援事業なども対象となる。</p> <p>介護老人福祉施設などの施設入所は、中重度者を重点化として要介護3以上に限定となっている。</p> <p>サービス付き高齢者住宅(サ高住)の住所地特例の適用も議論になると思う。</p> <p>最後に、国は、利用者負担について、一定の所得の方は2割負担としている。また、住民税が非課税の方は施設入所の食費の負担はなかったが、収入のレベルが低くても資産がある人に対しては補給給付を制限する。この資産の把握は大変である。</p> <p>地域支援事業は、池田市がどういう汗をかいたかが1年後問われる。この議論が中心になる。ただし、介護保険料設定が5,000円~6,000円となる。</p>

	<p>厚労省は 8,000 円、9,000 円が上限だと考えている。国民は飲めないと思う。医療費の見直しもあるので、トータルで生活を考えるとずいぶんの負担増になるが、今後の医療や介護制度の維持を考えると、いたしかたない面もある。</p> <p>質問はあるか。</p>
木村委員	<p>介護保険料は、各で算出されると思うが、今回の費用負担の見直しについては、国が考えるのか、市町村が 2 割負担の限度を設けるのか。策定委員会で池田市だけが決めていいのか。</p>
事務局	<p>年間収入で 280 万円以上の人については、2015 年 8 月から 1 割から 2 割になる。池田市独自とするのではなく、全国一律になると理解している。</p>
木村委員	<p>そうすると、国が決めた基準でやるということか。</p>
事務局	<p>池田市独自にやると周りとのバランスもあるので、国の決めたとおりに初めは進めようと考えている。</p>
山本会長	<p>現在の介護に使われる国のトータル額は 10 兆円である。これを各市町村で 2 割と 1.8 割とか 1.6 割にすると、10 兆円は誰が払うのか、ということになる。資金拠出については、国が一律で決める。個々の地域の問題になれば、隣町とはサービスも違うので、保険料も違ってくる。しかし、単価は国が決められているので、全部国が仕切っていて、8 人使われたのと 13 人使われたぐらいの違いを案分しているということである。原理的には、国が全部決めている。たまたま池田市の高齢者が多いか少ないか、状態が軽いか重いかぐらいの差で、本質は国が決定している。これが介護保険制度だと私は見ている。</p> <p>国から 2 割と文書化されたら市は条例を変えて 2 割にする。そのスケジュールはセットされている。</p> <p>ほかに質問はないか。</p>
木村委員	<p>策定委員会の資料 1 で、「第 6 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の位置づけ」というのが 1 ページ目にある。「また、介護保険事業計画は池田市総合福祉条例の趣旨に沿い、策定するものである」と記載されている。池田市総合福祉条例は、どういうものなのか。</p>
山本会長	<p>事務局、説明できるか。</p>
事務局	<p>資料の用意がないので、後でお示ししたい。</p>

山本会長	<p>ほかにはないか。福祉の計画の大元の総合計画は、精神や趣旨があり、条例と計画で矛盾しないような形になっている。福祉条例はどんな形のものかということである。事務局預かりでお願いしたい。</p> <p>では、次は、アンケート調査に移る。池田市オリジナルのもので、これを計画に反映させたい。事務局からの説明をお願いしたい。</p> <p>議事（４）利用意向調査の結果について</p> <p>（資料説明） アンケート調査結果概要</p>
山本会長	質問が満載となっているが、質問はあるか。
北浦委員	回収率が50%程度となっているが、関心のある議題に対しては、低いのではないか。
山本会長	<p>社会学的には6割程度の回収率があれば十分なデータとなる。北浦委員は、回答されていない人の割合を考えて心配されていると思うが、統計的には5割の回収率は有効性のあるものと言える。</p> <p>4ページの「住まいと世帯について」では、生活する上で困難なことから、移動の手段として手すり等つかまるものの設置が重要となっている。また、火災の問題として避難する際の課題ともいえる。世帯状況をみても、高齢世帯が増え続け、今後一人になることから示唆される。</p> <p>6～7ページ「健康・医療について」だが、食事・禁煙・運動は1人ではなかなかできないことで、社会参加なしでは難しいことである。これは、社会的な課題だと思う。</p> <p>8～9ページの「運動・外出状況について」では、外出を控えている人が多い。今後は移動手段の充実を図り、社会的システムの構築を考えなければならない。</p> <p>12ページ「物忘れの状況について」と13ページの「こころの状況について」だが、認知症やうつなどは行政課題となっている。</p>
木村委員	6ページ「健康・医療について」で、「通院している」と「訪問診療を受けている」を足して9割の人が、地域の病院にお世話になっている。
山本会長	日本の医療は、世界の中でも中核となる存在である。今後どう継続していくかが課題となる。

	8 閉会
--	------